

1 y を x の式で表し, y が x の1次関数であるものには○を, 1次関数でないものには×をつけなさい。

- (1) 200ページある本を x ページ読んだときの残りが y ページ
- (2) 底辺が x cm, 高さが y cm の三角形の面積が 24cm^2
- (3) 1冊150円のノートを x 冊買ったときの代金 y 円
- (4) 120Lの水が入った水そうから毎分8Lの割合で水をくみ出したときの x 分後の水の量 y L

2 次の㊦～㊩の式の中から, y が x の1次関数であるものを選びなさい。

㊦ $y = \frac{x}{3}$

㊧ $y = 2x^2 + 4$

㊨ $x + y = 5$

㊩ $y = \frac{6}{x}$

3 1次関数 $y = 3x - 5$ で, x の値が次のように増加するとき, x の増加量, y の増加量, 変化の割合を求めよ。

① 1から7まで

② -5から2まで

③ -6から-3まで

4 次の1次関数について, x の増加量が9であるときの y の増加量を求めよ。

① $y = 2x - 3$

② $y = -x + 2$

③ $y = -5x - 1$

④ $y = \frac{5}{3}x - 5$

⑤ $y = -\frac{3}{4}x + 6$

⑥ $y = 0.4x - 1.2$

5 1次関数 $y = \frac{1}{2}x - 1$ について, 次の問いに答えよ。

(1) x の値が-3から-1まで増加するとき, y の増加量を求めよ。

(2) 変化の割合を求めよ。

(3) x の増加量が次のとき, y の増加量を求めよ。

① 10

② -8

6 y は x の1次関数で, x の値に対応する y の値は, 表のようになっている。

x	-4	-2	0	2	4	6
y	18	10	㊦	-6	-14	㊧

(1) 表の㊦, ㊧にあてはまる数を求めよ。

(2) この1次関数の変化の割合を求めよ。

(3) x の増加量が-14であるときの y の増加量を求めよ。